

登米市議会（令和2年6月定期議会）

すとうこうき報告

政治信条

子どもと家族を守る！
生活と環境を護る！
笑顔輝く登米市民を衛る！



発行/須藤 幸喜 住所/登米市登米町小島大野前84番地5 TEL・FAX/0220-52-4351

市民の意見を 市政に生かしてまいります！

緊急事態宣言は解除されましたが、まだ予断を許さない状況です。感染防止に努め、「新しい生活様式」を取り入れながら活動していきます。近年、大雨による被害が多くなっており、登米市も昨年、台風19号による被害を受け、現在も爪痕が残っている状況であります。早急に災害復旧を行うよう今後も継続して働きかけてまいります。登米市議会では、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、感染防止対策をしながら5月特別議会と6月定期議会を行ってきました。6月定期議会の一般質問では、本来50分間の時間を30分とし、登米市消防団員と消防自動車積載における備品貸与について本市の姿勢を問いました。

今後も広報活動・立立ち等も継続していき、精力的に頑張っております！

すとうこうきプロフィール

＜主な経歴＞

昭和36年7月5日 登米町に生まれる（69才）
昭和55年3月 宮城県立登米高等学校卒業
平成18年4月 登米市立登米中学校PTA会長
平成18年4月 登米市町民組合会長
平成25年7月 登米市職員組合執行委員
平成28年9月 登米市議員選挙
平成28年1月 登米市議会議員初当選

＜現職＞

前 議会教育民生常任委員会副委員長
前 議会広域広域委員会委員
前 民生委員児童委員

すとうこうき一般質問・答弁

○本市における消防団員への備品貸与について

問 本年4月より消防団員となった方々への衣服の貸与がない。

答 入団した段階で採寸をし、全体数量を取りまとめ発注するが、2ヶ月程度期間を要す。納品されるまでは退団により返却された活動服等を一時的に貸与している。

問 未だ活動服の貸与はないと聞く。退団者の返納品の一時貸与もない状況である。再度調査が必要である。さらに、署員には装備されている頭上の小型ライトや災害現場用の誘導棒もなく、市民の命を守る団員の自らの命が守りきれない。

答 使用頻度が著しく低いものは配備していない。頭上小型ライトや誘導棒は国の基準で配備器具として分類されているが、分団及び車両に配備している投光器や発電機で夜間活動時の安全は、一定程度確保されている。

問 現在のコロナウイルス関係や、他の感染症・火災・行方不明者の捜索活動等、発生時に消防署員にあって、消防団員には頻度が著しく低いことを理由に、配備しないとのことだが、行動や範囲が逆に著しく狭まる事を危惧するが。

答 状況によっては、我々常備消防は部隊を確保し、装備も確保のうえ動いているが、消防団はまとまった部隊運営がなかなか出来ない状況にもあり、そのような事案の場合には、我々よりもリスクが高くなることは間違いない。

問 火災時の放水活動中、防火水槽への補水、補充を行う際に、T字型のハンドルを用いるが、補充コックが深いことから、T字ハンドルが路面ギリギリであり、大変苦勞している。事情を署に伺い、話をしてきたのだが未だその手立てがないようだ。担当する場所の備品は、最低条件と思われる。団で購入や作成とせず、貸与は必要だ。

答 市内には現在、補水装置が107か所ある。各町域によりさまざまな様式である。路面においては工事後の路面高の変更や、地形によっては深さもまちまちであることから、我々常備消防も数種類装備し、さらには、地下消火栓装備も積んでいる。今後町域ごとの実態を調査し、災害を最小にするため、適正な配備を検討する。

問 ただ欲しいと言っているのではない。署員が装備して、団員がない現状は、リスクが大きい。行方不明者の捜索時も、片手でライトを持つよりも、両手が自由に使えることは、安全かつ効率も良い。誘導棒も市民と団員の安全を第一と考えるためである。団員の方々の努力に報いる市。その姿勢を見せることは大切だ。

答 市としては、消防団からの要望をしっかり受け止め、財政面も考慮し、年次計画で進める。



ヘルメットへの装着ライト

令和2年5月特別議会補正予算（主な物）

◎特別定額給付金給付事業 総額7,811,793,000円（事務費含む）

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策 77,901人分/令和2年4月27日現在/一人100,000円

◎子育て世帯への臨時特別給付金支援事業 総額96,263,000円（事務費含む）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯へ生活支援を行う。
児童手当を受給する世帯への交付金。 支給対象児童児童数9,250人/一人10,000円

◎児童扶養手当受給者への臨時特別給付金支給事業 総額20,218,000円（事務費含む）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯等への給付金。
第1子791人/支給額20,000円、第2子以降401人/支給額10,000円、※高校3年生まで対象

◎畜産経営緊急支援事業 総額45,293,000円（事務費含む）

新型コロナウイルス感染症の影響により牛肉消費の落ち込み、枝肉価格や子牛価格の落ち込んだことから、畜産農家の経営継続を支援する。（令和2年4月から9月までの市場出荷分）

肥育農家支援事業：交付単価 10,000円/1頭あたり/対象頭数3,350頭分/上限頭数100頭

繁殖農家支援事業：交付単価 5,000円/1頭あたり/対象頭数1,800頭分/上限頭数30頭

酪農農家支援事業：交付単価 5,000円/1頭あたり/対象頭数 500頭分/上限頭数30頭

◎飲食店需要創出支援補助金 総額10,000,000円（100事業者）/1事業者あたり100,000円を上限。

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少し、宅配サービス等の新たな需要に対応する市内飲食店の支援事業。（飲食業・宿泊業で以下の要件を全て満たすもの）

①令和2年3月1日以降に新たに宅配サービス等に取組む（取組んでいる）または、既に取り組んでいるが感染症拡大防止のため、使い捨て容器を購入する（購入した）者。

②令和2年3月1日から令和2年8月31日までの間、継続的に宅配サービス等を実施する者。

③新型コロナウイルス感染症の影響により売上が前号の期間のうち前年同月比で20%以上減少している月が1月以上ある者。



登米市発熱外来診察室調査
熊谷県議、高橋稔原市議と共に

◎地域資源を活用した再生可能エネルギー設備導入事業 総額165,646,000円（事務費含む）

【目的】地域の豊富な資源を再生可能エネルギーとして積極的に使用することにより、持続的な森林整備の推進や地域林業の活性化、エネルギーの地産地消による地域経済循環の向上を図る。

【概要】道の駅津山・もくもくランドへ木質バイオマスボイラーによる、冷暖房設備を導入するため、実施設計及び設備工事を行う。

【導入設備】木質バイオマスボイラー1基、木質チップサイロ等 一式

【燃料供給量】使用木材は市内山林間伐材、木質チップ使用量は約138t/年・使用木材230m³/年

◎公共施設等災害復旧事業 総額11,000,000円

令和元年東日本台風により、被害を受けた「道の駅津山・もくもくランド」内の災害復旧。

農林産物直売施設：地盤改良、床材・ウッドデッキ張替、内装腰壁改修、電気設備、給排水設備の各工事

令和2年6月定期議会補正予算（主な物）

◎議会・各常任委員会等の活動に要する経費の減額 総額10,536,000円

旅費：（議員費用弁償）△5,843,000円（職員普通旅費）△943,000円

負担金、補助及び交付金：（政務活動費交付金）△3,750,000円

◎公共施設等のLED化事業 総額217,668,000円

水銀による環境汚染防止に関する法律により、令和2年末を以って水銀灯の製造が原則禁止となることから、市内公共施設等に使用されている照明器具のLED化を図る。

小中学校体育館・武道館等、登米総合体育館・迫体育館・中田総合体育館等、集会施設、祝祭劇場等

◎強い農業・担い手づくり総合支援事業に要する経費 総額10,026,000円

先進的農業経営確率支援事業補助金 8,235,000円

地域担い手育成支援事業補助金 1,791,000円

市政への思いをお寄せください（TEL / FAX 0220-52-4351）

すとうこうき報告

政治信

子どもと家族を守る！
生活と環境を護る！
笑顔輝く登米市民を衛る！



発行/須藤 幸喜 住所/登米市登米町小島大野前 84 番地 5 電話/090-7937-7026

2020年の大雨をもたらした梅雨も明け、暑い日が続いております。皆様のご体調はいかがでしょう。

今回はコロナウイルス感染症対策として、国の第2次補正予算を受けて、市としての対応予算を

7月特別議会として開催し、可決となった主な事業のお知らせです。

○指定避難所に係る衛生環境向上事業 【198,881,000円】

避難所となる施設トイレで感染者が触れる部分(入口扉、手洗い蛇口、天井灯電源スイッチ)を非接触型に改修する。

対象施設

- 迫 地区 迫・北方・森・新田の各公民館、光ヶ丘球場、迫武道館、迫体育館、旧新田第2小学校、迫老人福祉センター
- 登米地区 登米公民館、登米老人福祉センター、登米総合体育館
- 東和地区 錦織・米谷・米川の各公民館、東和総合運動公園、旧嵯峨立小学校、旧鱒淵小学校、東和地域福祉センター、及甚と源氏ボタル交流館
- 中田地区 中田農村環境改善センター、中田総合体育館、旧上沼小学校、中田球場、中田生涯学習センター、中田B&G海洋センター、中田体育センター
石森・空江・上沼・浅水の各ふれあいセンター、中田福祉センター、中田保健福祉会館、
- 豊里地区 豊里公民館、豊里鍋波コミュニティセンター、平沼沼農村文化自然学習館、豊里多目的研修センター
- 米山地区 米山・中津山・吉田の各公民館、吉田・米山の各体育館、旧善王寺小学校、吉田・中津山の各運動場、善王寺コミュニティセンター、米山柔剣道場、
米山B&G海洋センター
- 石越地区 石越公民館、石越保健センター、石越体育センター、石越防災センター、石越福祉センター、石越総合運動公園
- 南方地区 南方公民館、南方農村環境改善センター、南方老人福祉センター、南方総合運動場、南方保健センター、南方体育センター、南方武道伝承館、
南方定住促進センター、南方就業改善センター
- 津山地区 津山若者総合体育館、津山公民館、津山林業総合センター、津山老人福祉センター
- 学校施設 市内小学校21校、中学校10校、幼稚園1園

○社会福祉施設等への特別支援交付事業 【25,525,000円】

感染リスクを抱えながら事業を継続している社会福祉施設等を運営する事業者に対して、特別支援金を交付する。

市内において各サービスを提供している事業者に対し、サービス区分ごとに一律10万円を交付。

交付対象施設 ※交付対象事業者数100事業者

名 称	サービスの区分	サービスの種類
介護サ ービス事業	① 通所型	通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護、認知症型通所介護、小規模多機能型居宅介護 介護予防通所リハビリテーション、介護予防認知症対応型通所介護、介護予防小規模多機能型居宅介護
	② 訪問型	訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、介護予防訪問入浴介護 介護予防訪問看護、看護予防訪問リハビリテーション、介護予防居宅療養看護指導
	③ 支援型	居宅介護支援、介護予防支援
	④ 入居型	短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、 介護老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護予防短期入所生活介護、介護予防短期入所療養介護 介護予防特定施設入居生活介護、介護予防認知症対応型生活介護、介護老人福祉施設、
障がい福 祉サー ビス事業所	① 通所型	生活介護、自立訓練、就労以降支援、就労継続支援、就労定着支援、放課後等デイサービス、児童発達支援、日中一時支援
	② 訪問型	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援、訪問入浴、移動支援、保育所等訪問支援
	③ 相談支援型	計画相談支援、障害児相談支援、地域以降支援、地域定着支援
	④ 入居型	短期入所、施設入所支援、共同生活援助
保 育 施 設 等	① 保育所等	認可保育所、認定こども園、小規模保育事業、事業所内保育事業、認可外保育施設(企業主導型保育事業含)
	② 放課後児童クラブ事業	

○新生児特別給付事業 【37,573,000円】

特別定額給付金の基準日の翌日以降に生まれた乳児を対象とし、子育て世代の経済的負担の軽減と健やかな成長を応援するもの。
交付金対象者は、令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれ、出生後最初の住民登録を登米市に行った乳児。
給付金受給者は、上記対象者を監護または養育するもので、給付金は乳児一人につき10万円。対象者見込を375人とした。



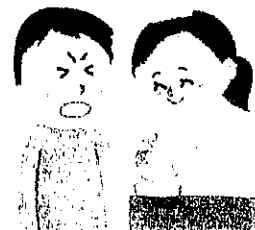
○保育従事者等慰労金給付事業 【17,505,000円】 ※職員一人当たり3万円

感染リスクを抱えながらも使命感を持って、保育の継続に努めたことに対して、慰労金を支給するもの。
対象者は、保育施設及び放課後児童クラブに勤務し、児童と接する保育従事者や放課後児童支援員並びにその他の職員。
申請にあたっては、個人が代理申請を園等に行い、園等で申請を一括で行う。慰労金は個人の口座に入る。
(緊急事態宣言の発令中に通算して10日以上勤務した者)



○予防接種（インフルエンザワクチン任意予防接種助成事業） 【77,177,000円】

新型コロナウイルス感染症流行の第2波に備え、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症混合流行を避けるため、
64歳以下の市民に対してインフルエンザワクチン予防接種費用の一部を助成するもの。
助成対象者は、64歳以下の市民（生後6か月未満及び中学3年生を除く） 対象見込み人数49,234人
助成額は、一人当たり1,750円以内。
(65歳以上及び中学3年生インフルエンザ予防接種の助成額は3,500円の2分の1)



○農業経営支援事業 【230,068,000円】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期にわたり、米価にも影響を及ぼすことが懸念されることから、水稻経営農家に対し支援金を支給し、経営の継続を支援するもの。
水稻経営農家（法人を含む）に対し、本年度の水稻作付面積に応じ、10a当たり2千円を交付する。（作付面積25ha以上は上限50万円）
水稻経営農家（法人含む）約6,800件（経営面積10a未満の農家は対象外） 水稻作付面積11,400ha

○牛マルキン加入支援事業 【33,500,000円】

枝肉価格の下落が続いていることに加え、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の生産者負担金の納付猶予が本年9月までで終了する見込みから、
生産者負担金に対して補助金を交付し、納付猶予期間終了後についても、肥育農家が牛マルキン制度への加入継続を支援する。
牛マルキンの生産者負担金のうち、出荷頭数に応じて定額1万円の助成。

- ① 対象期間：令和2年10月から令和3年3月までの市場出荷分
- ② 補助金額：1万円×3,350頭＝33,500,000円



○登米産仙台牛消費拡大事業 【11,000,000円】

消費が低迷している「登米産仙台牛」の消費拡大を図るもの。
市民を対象に、5,000円相当の登米産仙台牛を2,500円で4,000パック販売する消費拡大キャンペーンに対して補助する。
補助対象者：JAみやぎ登米肉牛部会



○学校保健特別対策事業 【35,000,000円】

学校の教育活動に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒及び教職員等の感染症対策に必要な物品の購入、
夏季休業期間短縮に伴う熱中症対策等に係る経費の支援。

☆学校における感染症対策等への支援 【16,057,000】

小学校及び中学校32校：マスク大小40,840枚、消毒用アルコール等1,709リットル ほか
小学校及び中学校32校：サーキュレーター712台

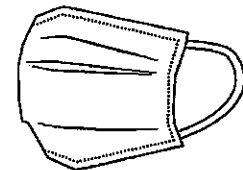
☆子供たちの学習保障の取り組みへの支援 【1,024,000円】

家庭との連絡や保護者からの問い合わせ等の連絡体制強化

小学校及び中学校32校：学校緊急連絡用携帯電話32台

☆その他の感染症対策等及び学習保障等に要する経費 【17,919,000円】

小学校及び中学校32校：消耗品費及び備品購入費





配達地域指定

登米市民のみなさま宛

登米市議会（令和3年新年号）

すとうこうき報告



発行/須藤 幸喜 TEL/090-7937-7026
住所/登米市登米町小島大野前84番地5

政治信条

子どもと家族を守る！
生活と環境を護る！
笑顔輝く登米市民を衛る！

年が明け、みなさまには本年も良い年をお迎えいただいていることとお祈り申し上げます。
昨年から続く「新型コロナウイルス感染症」によって、市民生活や地域経済に大きな影響が生じています。登米市においても、市民の暮らしを守る様々な政策を実行しております。引き続き、感染防止対策を行いながら、新型コロナウイルス感染症の収束にむけ、市に意見を述べてまいります。

とよまの情報は、生涯スポーツの拠点でもある総合運動公園のトイレ建設も順調に進み、計画竣工である3月には完成の見込みが立ちました。さらに、第二次登米市総合計画（令和5年度までの実施計画）に、とよまの交差点で危険とされていた、宮城県道36号築館登米線、寺池大手先から旧登米診療所間（大手先上町線整備事業）が新規登載され、安全安心の環境整備が行われます。

今回の報告は今年度、登米市で行なってきた新型コロナウイルス感染症対策事業予算と、1月召集議会で決議した新型コロナウイルス感染症対策事業をお知らせします。

今年もわたくし「すとうこうき」は、市民に寄り添った誠実な心をもって活動してまいります。

これまでの対応事業と予算

※一部掲載

感染症予防のために
ひとりひとりが気をつけましょう

市民生活への支援

(単位：千円)

発熱外来設置事業	24,283
児童扶養手当受給者への臨時特別給付金事業	20,218
子育て応援給付金支給事業	93,604
新生児特別給付金給付事業	37,573
臨時特別定額給付金給付事業	2,013
インフルエンザワクチン任意予防接種助成事業	77,177
介護予防活動感染症対策事業	1,405
図書館除菌機設置事業	2,411
学習活動支援事業	6,094



これからの対応事業と予算

自宅療養者等日常生活支援事業 予算額 308,000円 (15,400円×20人分)

新型コロナウイルスに感染し、自宅療養せざるを得ない方や濃厚接触者として自宅等に待機することとなった方のうち、家族等からの支援を受けることができない方の日常生活の支援及び市中感染の拡大防止を図るため、支給対象者へ生活用品等を無償で支給する。

支給対象者は、保健所からの要請に基づき、生活用品等を必要とする自宅療養者等となる。

支給する量は、一人当たり2週間相当分で、保健所からの要請1件当たり1回となる。

支給する生活用品等

- ①食品：白米、レトルト食品、缶詰、カップ麺、ビタミンゼリー
- ②飲料水：スポーツドリンク、お茶、野菜ジュース
- ③衛生用品：サージカルマスク、アルコール入りウエットティッシュ、除菌シート、ハンドソープ、ごみ袋、ビニール手袋
- ④日常雑貨用品：トイレトーパー、ボックスティッシュ、洗剤（食器用、洗たく用）歯ブラシ、シャンプー、ボディソープ

(この取り組みは、現段階で
仙台市と登米市のみとなる)

新米セットで生活応援事業 予算額 15,731,000円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化・再拡大していることから、規制が制限されている大学生及び就学援助を受けている家庭へ登米市産の新米を中心とした市内物産品の詰め合わせを送り、郷土愛の醸成を図りながら、生活支援及び市内物産品の応援消費を行う。

事業対象者は、①市外に在住する登米市出身の短期大学、大学、大学院、専門学校等に在学している学生

②就学援助受給世帯（市内小中学校に在籍する児童生徒）

対象件数は、1,100件で、①市外在住の市出身大学生等600人（希望者）

②就学援助受給者500世帯（全世帯）

飲食業等応援給付金 予算額 120,000,000円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化・再拡大により、飲食業等への経済的影響が更に大きくなっていることから、給付金を支給し、事業継続を支援する。

事業内容

宿泊業、飲食サービス業、一般乗用旅客自動車運送業、一般貸切旅客自動車運送業及び運転代行業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が前年同月比で20%以上減少している事業者に対し、事業継続を支援するため、30万円を上限とした給付金を支給する。※フランチャイズチェーン店を含む。対象事業数は400事業者。

経営維持臨時給付金 予算額 50,000,000円

持続化給付金対象外で、売上が一定程度減少している市内事業者に対し、本給付金を支給することで、事業継続が困難になっている事業者の事業継続を下支えする。

事業内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が前年同月比で20%以上50%未満の割合で減少した市内中小企業者、小規模事業者及び個人事業者に対し、1事業者当たり20万円を支給しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化・再拡大により経営継続がさらに厳しい状況になっていることから、給付金額上限を50万円に増額するとともに、すでに受給した事業者には追加で30万円を上限に支給する。

対象事業者

- ①鉱業、採石業、砂利採取業
- ②建設業
- ③製造業
- ④電気、ガス、熱供給、水道業
- ⑤情報通信業
- ⑥運輸業、郵便業
- ⑦卸売業、小売業
- ⑧金融業、保険業
- ⑨不動産業、物品賃貸業
- ⑩医療、福祉
- ⑪学術研究、専門・技術サービス業
- ⑫宿泊業、飲食サービス業
- ⑬生活関連サービス業、娯楽業
- ⑭教育、学習支援業
- ⑮複合サービス事業
- ⑯サービス業（他に分類されないもの）